

【分析 1】調査の概要及び調査結果の分析

① 調査の概要

(ア) 調査の目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(イ) 調査対象 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(ウ) 実施期日 平成31年4月18日（木）

(エ) 調査事項

- a 児童生徒に対する調査
 - 教科に関する調査
 - 小学校調査：国語、算数
 - 中学校調査：国語、数学、英語
 - 質問紙調査
- b 学校質問紙調査

(オ) 調査実施学校数及び集計対象者数（県内公立学校）

学 年	調査実施学校数	集計対象者数
小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年	467校	24,006人
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年	239校	20,889人

② 教科調査の結果

- 小学校は、国語及び算数において、平均正答率が全国を上回っている。
- 中学校は、国語において、平均正答率が全国を上回っている。数学及び英語において、平均正答率が全国と同程度である。

(ア) 平均正答率（※数値は、本県、全国ともに公立学校のもの）

		小 学 校		中 学 校		
		国語	算数	国語	数学	英語
平均正答率 (%)	本 県	66	68	74	60	56
	全 国	63.8	66.6	72.8	59.8	56.0

※平成29年度から、都道府県別の教科の平均正答率は、国から、小数点以下を四捨五入した整数値で提供されている。
※中学校英語の調査結果は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題の合計が集計されている。

(イ) 正答率の高さの区分ごとの児童生徒の割合

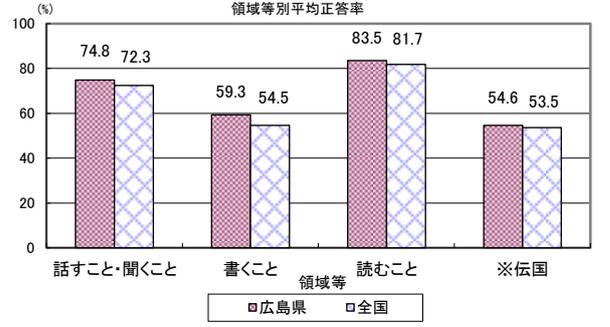
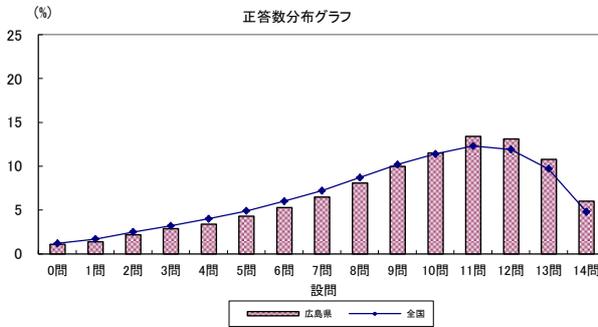
	小 学 校		中 学 校		
	国語	算数	国語	数学	英語
正答率 80%以上の児童生徒の割合 (%)	29.9	30.3	57.2	30.7	10.9
正答率 60%以上の児童生徒の割合 (%)	64.8	67.2	79.9	55.4	43.9
正答率 40%未満の児童生徒の割合 (%)	15.3	12.4	8.0	26.3	22.1

(ウ) 教科における学習内容の定着状況の概要

〔一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。〕

小学校国語

○ 国語については、平均正答率が66%で、全ての領域等において平均正答率は全国平均より高い。



正答率上位2問

- 梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する
(設問 2二) 89.9% (全国 88.5%)
- 豊職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する
(設問 3一) 82.8% (全国 81.3%)

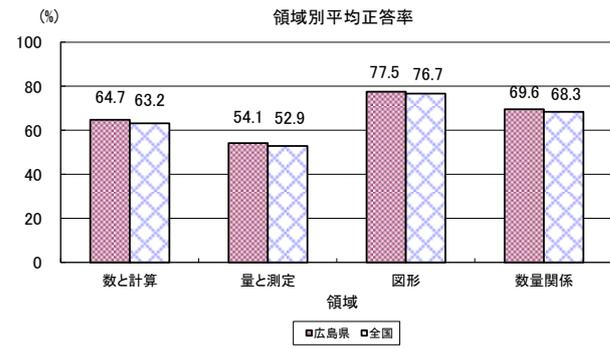
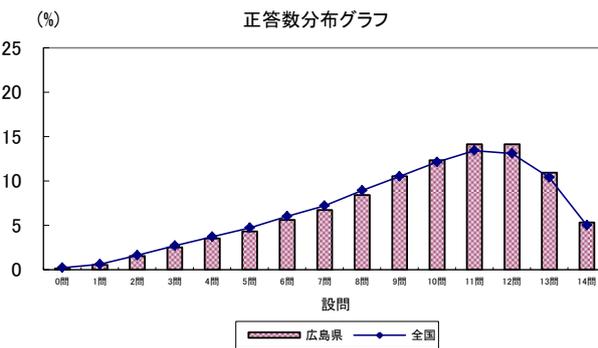
正答率下位2問

- 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)
(設問 1四(1)ウ) 28.4% (全国 35.6%)
- 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く
(設問 1三) 34.3% (全国 28.8%)

※伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

小学校算数

○ 算数については、平均正答率が68%で、全ての領域において平均正答率は全国平均より高い。



正答率上位2問

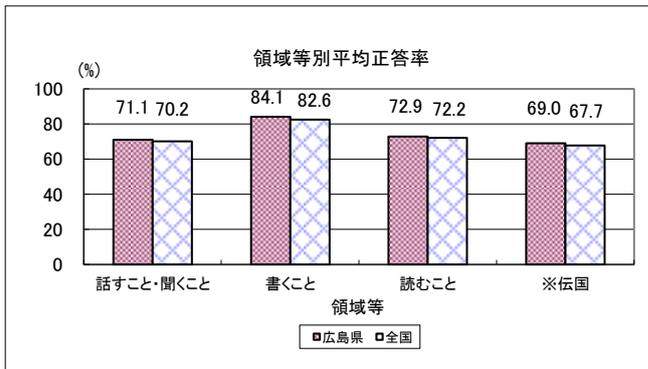
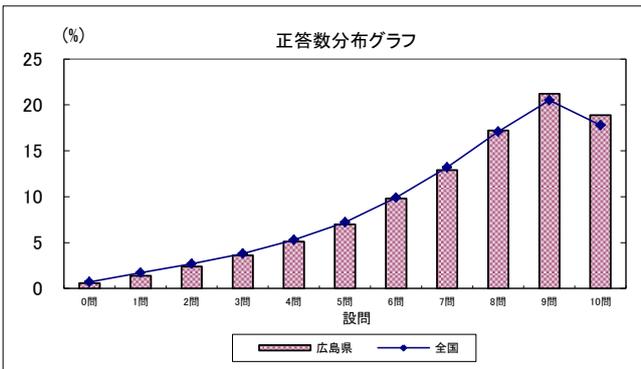
- 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ
(設問 2(1)) 95.6% (全国 95.2%)
- 長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ
(設問 1(1)) 93.3% (全国 93.1%)

正答率下位2問

- 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く
(設問 3(2)) 32.2% (全国 31.1%)
- 減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く
(設問 1(3)) 43.6% (全国 43.9%)

中学校国語

○ 国語については、平均正答率が74%で、全ての領域等において平均正答率は全国平均より高い。



正答率上位2問

- 「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く (設問 1三) 92.8% (全国 91.2%)
- 意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する (設問 3一) 87.6% (全国 87.4%)

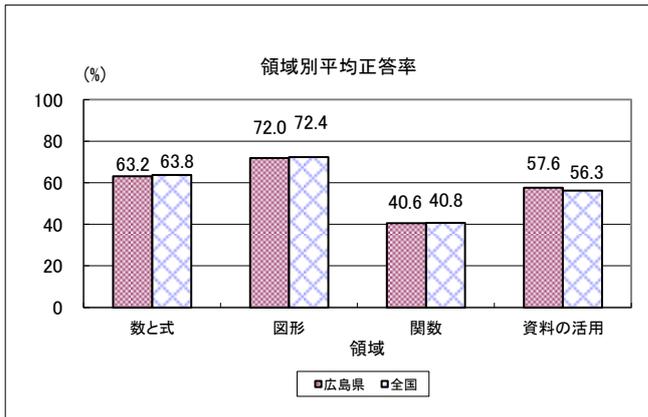
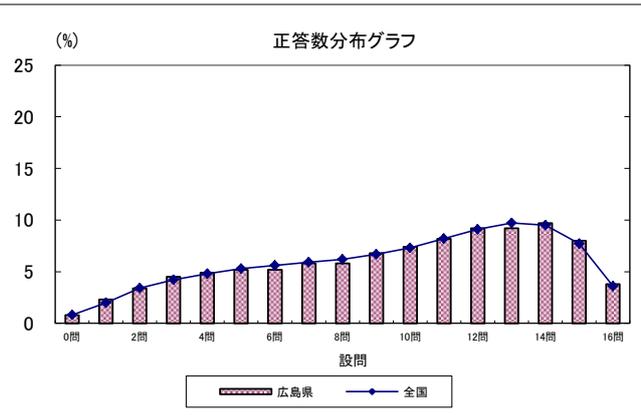
正答率下位2問

- 「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く (設問 1四) 59.0% (全国 56.8%)
- 「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する (設問 1二) 60.9% (全国 61.5%)

※伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

中学校数学

○ 数学については、平均正答率が60%で、領域別では、「資料の活用」の平均正答率は全国平均より高いが、「数と式」、「図形」、「関数」の平均正答率は全国平均より低い。



正答率上位2問

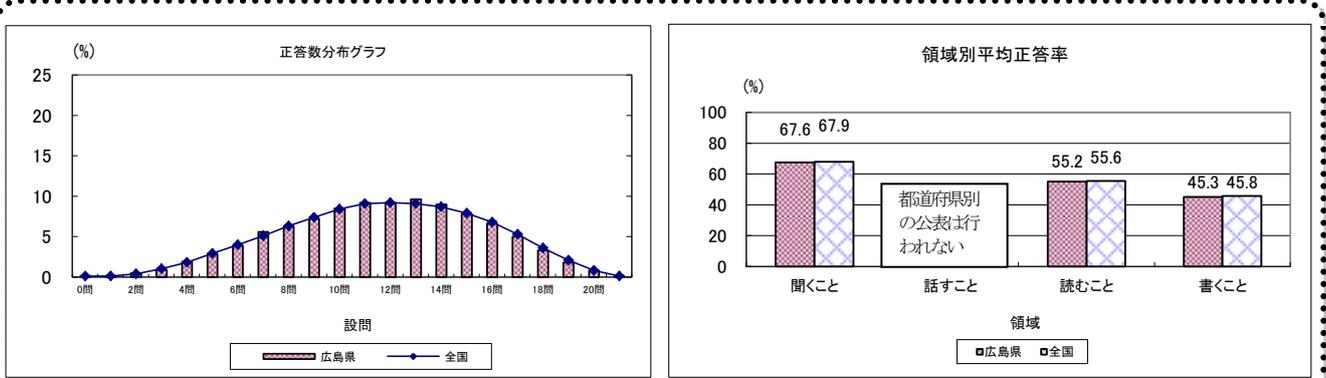
- $\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める (設問 3) 82.4% (全国 83.6%)
- ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ (設問 7(2)) 77.3% (全国 77.2%)

正答率下位2問

- 冷蔵庫 B と冷蔵庫 C について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する (設問 6(2)) 35.7% (全国 34.7%)
- 冷蔵庫 A の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点 P の y 座標と点 Q の y 座標の差が表すものを選ぶ (設問 6(1)) 37.5% (全国 38.8%)

中学校英語

○ 英語については、平均正答率が 56% で、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の平均正答率は全国平均より低い。



正答率上位2問

- ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する
(設問 1(1)) 91.0% (全国 91.1%)
- 教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する
(設問 1(2)) 87.2% (全国 88.6%)

正答率下位2問

- 学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く
(設問 10) 1.4% (全国 1.8%)
- 来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く
(設問 4) 8.5% (全国 7.6%)